

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習活動及び教育活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 4年 5月 2日

学校名 福井市豊小学校

校長氏名 名葉 浩行

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 豊地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 学校での節電、節水に努めます。
- ③ 地域と連携して、資源回収等、リサイクル活動に努めます。




2 取組内容

- ① 総合的な学習の時間における環境学習
 - ・5学年を中心に、豊地区を流れる狐川の環境を調査し、現状や問題を考えることを通して、豊地区の環境をより良くしていく方法を考え、町作りのアイデアや心構えがもてるようになっていきます。またそれらを下学年に伝えたり、地域へ発信したりしていきます。
- ② 節電・節水の取り組み
 - ・SDGs 委員会の活動として、校舎内の見回りを行い、節電、節水の状況調査や各教室の保護紙回収を行い、結果や気づきを知らせることで、校内に節電、節水を呼びかけていきます。
- ③ 地域と連携しての分別回収、清掃活動
 - ・新聞・雑誌等古紙の回収と毎月1回アルミ缶回収を、豊教育振興会や地域と連携し行います。また夏季休業中には学校清掃を実施します。学校の取組は、SDGs 委員会が中心になり、行います。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

③の資源回収、毎月1回のアルミ缶回収、学校清掃活動を通じて、自分の仕事に責任をもち、地域の様々な人との関わりや協力を大切にしながら、主体的に取り組もうとする態度を養う(⑥つながりを尊重する態度・⑦進んで参加する態度)。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">豊小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <p>①豊地区の環境、地球環境について学習します。</p> <p>②学校での節電、節水に努めます。</p> <p>③地域と連携して、資源回収等、リサイクル活動に努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>④ 総合的な学習の時間における環境学習</p> <p>5学年が、豊地区を流れる狐川の環境を調査し、現状や問題を考えることを通して、豊地区の環境をより良くしていく方法を考えた。今後は下級生に伝えたり、地域の人たちに発信したりしていく予定である。</p> <p>⑤ 節電・節水の取組</p> <p>SDGs 委員会の活動として、校舎内の見回りを行い、節電、節水がなされているかを調べ、校内に節電、節水を呼びかけていきます。</p> <p>⑥ 地域と連携しての分別回収、清掃活動</p> <p>新聞・雑誌等古紙の回収を豊教育振興会（PTA）や地域と連携して実施した。また10月には学校清掃を実施。学校の取組としては、SDGs 委員会が中心になり、毎月1回アルミ缶回収を行った。</p>	 
<p>★ E S Dポイント（取組内容の内、1項目についてE S Dの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）</p> <p>①の環境学習を通じて、自分たちの身近な環境や自然に関心をもち、未来を見据えながら自分たちが今後どのように行動しなければいけないのかを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う（⑥つながりを尊重する態度・⑦進んで参加する態度）。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">3 見直し</p>	<p>【具体的効果】</p> <p>①総合的な学習の時間を使った環境学習</p> <p>5学年の狐川の環境調査では、予想より多くの種類の生き物に会えたことで更に親しみをもった。一方で、自分たちが思った以上に川が汚れていて、ごみがたくさんあるという事実を知り、大切な川をもっときれいにしていかなければならないという思いを強くするなど、環境保全の意識が高まった。</p> <p>②委員会の取組</p> <p>校舎内の見回りを行い、節電、節水がなされているかを調べた。今年度は換気をするが、冷暖房を行ったので、節電の効果は一見するとわかりにくいですが、健康を守るために必要な冷暖房は使うこと、手洗いは時間や活動毎にきちんとするが、蛇口の閉め忘れには注意する、といった、これからの生活の中で必要なことを考え</p>

た。さらに、各手洗い場に節水ポスターを作り呼びかけることで、全校に注意喚起することができた。

③地域と連携しての分別回収、清掃活動

SDGs 委員会の毎月1回アルミ缶回収は、児童玄関を密にしない配慮のためもあり、例年のような登校時の回収はできなかった。そこで、SDGs 委員会では各教室の古紙を回収し、資源として役立てるようと、回収ボックスを作成して各学級に配付し、活用を促した。昨年度、保護者のみの参加となった夏季休業中の学校清掃も、今年度は10月に開催し児童も参加することができた。

【改善点】

SDGs 委員会を中心に環境保全に関わる活動を行ったこともあり学校全体としてもSDGsを意識する機会が多かった。今年度は学校清掃に親子で参加することができたが、子どもたちが地域の人たちと一緒に活動することが少なく、環境を守る意義や環境を守ることの重要性を今ひとつ実感することができなかった。

今後はSDGs委員会を中心に、環境に関する取組を積極的に行うとともに、学校全体として環境を守る意義や、その重要性について考えさせるような授業作りや活動をしていきたい。